

株式会社京王ズホールディングス
平成21年10月期(第17期)第1四半期
決算説明資料

H21.3.5

■ 平成21年10月期/第1四半期連結業績サマリー	P 3
■ セグメント別第1四半期連結【売上高・営業利益】	P 4
■ ストックビジネスのご説明	P 5
■ 最後に	P 6

前期と比較した連結サマリー

	H20. 10月期第1四半期 第16期	H21. 10月期第1四半期 第17期	前年同期比 (%)
売上高	3,319	2,928	-11.8%
営業利益	36	79	120.8%
経常利益	24	67	172.4%
四半期純利益	-9	48	-

(単位：百万円)

過去3期との営業利益同期比においては最高となっております。その主な要因としましては、

- ①前期において徹底したコスト削減を行った為
- ②不採算事業からの完全撤退が終了した為

であり、安定した利益体質へチェンジ出来た結果と捉えております。

一方、売上高減少の主な要因としましては、

- ①一般的な外部経済環境の悪化
- ②前期において移動体通信事業の新潟地区での7店舗の営業譲渡(営業管轄エリア変更の為)を行った為と捉えております。(但し、当期事業計画においては売上高の減少は織り込み済みであります。)

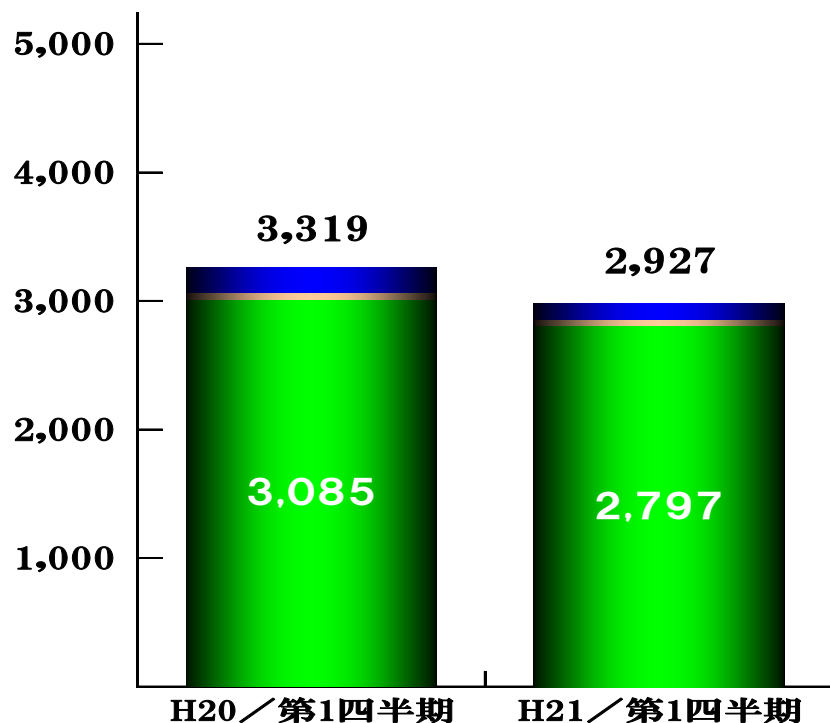
■ セグメント別第1四半期連結売上高・営業利益

※全社消去を除く

■ 移動体通信事業
 ■ 不動産事業
 ■ TM事業

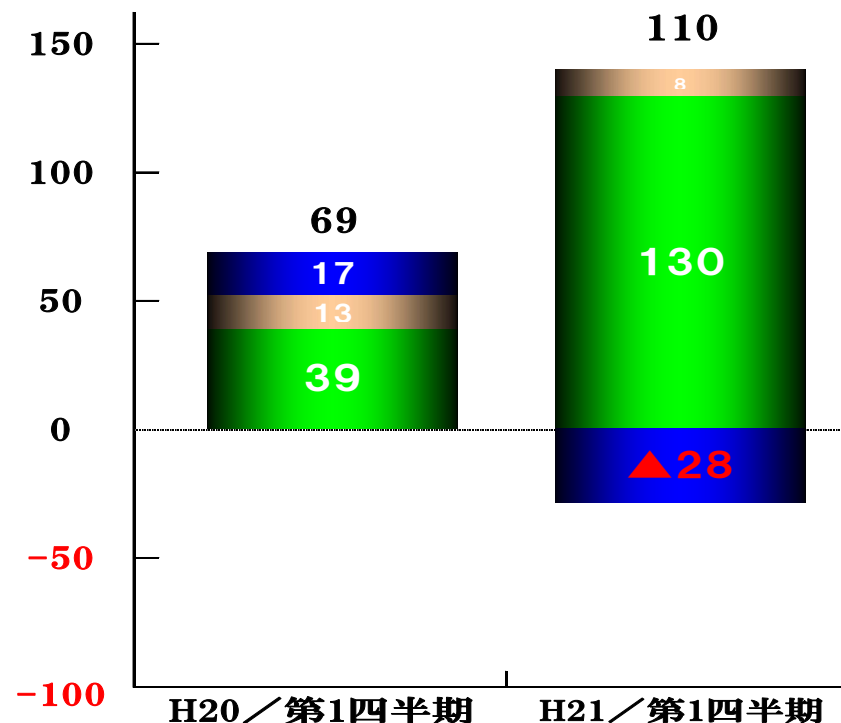
【売上高（累計）】

(百万円)



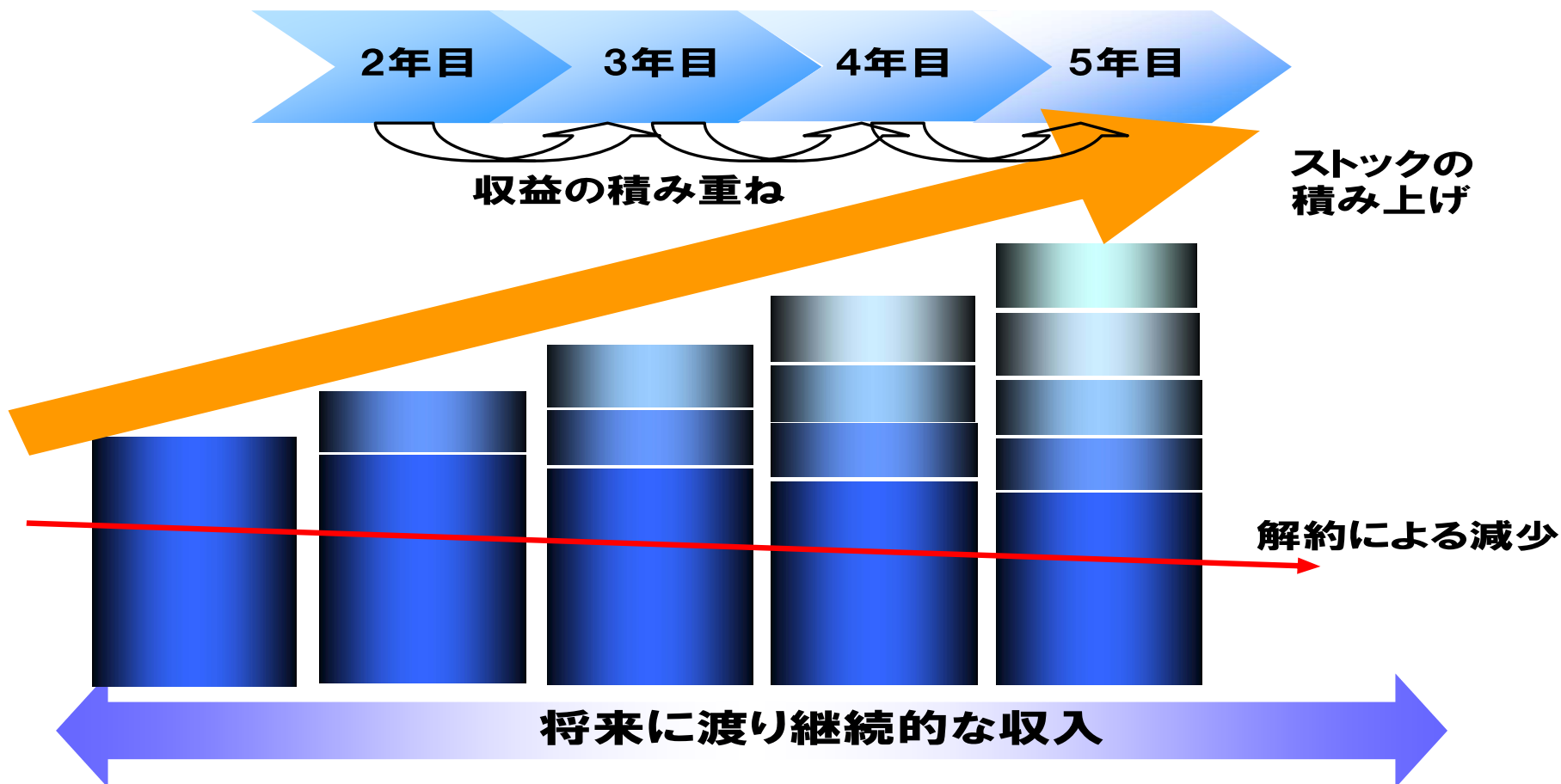
【営業利益（累計）】

(百万円)



売上高の減少とは反対に、営業利益が増えているのは徹底したコスト削減を行った結果と、ストックビジネス=(将来にわたる継続的な収益)によるものです。(詳細は次ページ)

<<不況に強いStockビジネスの仕組み>>



当社を通じてご契約頂いたお客様が毎月支払う月額基本契約料金、月額使用料金等に応じて計算され通信事業・保険事業の各キャリア等から当社に対して支払われる継続月額手数料

下記予想は、既にIRさせて頂いております平成21年10月期計画で御座います。第1四半期を終え、当初計画に変更なく、順調に事業運営を進める計画であります。

平成21年10月期連結業績予想

	平成20年10月期実績		平成21年10月期計画		対前期比
	売上高	パーセンテージ	売上高	パーセンテージ	
売上	12,618	—	11,708	—	92.8%
営業利益	155	1.2%	256	2.2%	165.2%
経常利益	102	0.8%	185	1.6%	181.4%
当期純利益	80	0.6%	151	1.3%	188.8%

(単位:百万円)

※第16期実績、第17期計画のパーセンテージは売上高に対する構成比となります。

※第17期計画値は、様々な要因により異なる結果となる場合があります。